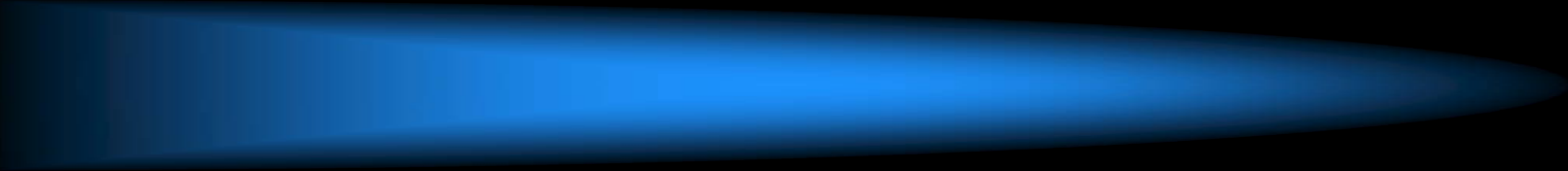


千葉県母性衛生学会セミナー

テーマ:産科医療における最新知識

生命を育む母乳育児



助産師 川島広江

2008.2.2(sat)

進む母乳育児の研究

母親への寄与①

- 効果的な産後の子宮収縮
- 身体的健康の保持、意識
- 体重減少
- 排卵抑制による自然な避妊
- 癌（乳癌・卵巣癌・子宮体癌）の減少
- 骨粗鬆症の回避
- 妊娠性糖尿病から糖尿病への回避

進む母乳育児の研究 母親への寄与②

- オキシトシン: ストレスの反応を抑制、穏やか、単調な仕事に耐えやすい
- プロラクチン: 没入的感情をもつ
- オキシトシン・プロラクチン: リラックスしやすい
- 授乳群では、ストレスによる血圧上昇が早く正常になる
- ストレスで、オキシトシンは、分泌低下する

進む母乳育児の研究 母親への寄与③

- 「この子にとって自分は、なくてはならないものです」
- 「この子が健康であるのは、自分の母乳を飲んでいるからです」
- 「この子が自分の一部であるように感じます」

進む母乳育児の研究 子どもへの寄与

- 新生児期以降の死亡率 ↓
- ワクチン抗原への免疫反応 ↑
- SIDS ↓
- 気道・尿路感染症 ↓
- 中耳炎 ↓
- I・II型糖尿病 ↓
- 肥満 ↓ 高脂血症 ↓

研究が進んできた母乳育児 I

社会への寄与

- 乳幼児の罹患率が低いため医療費の節約。
- 子どもの病気で仕事を休まなくてすむ。
- 病院へ連れて行く時間の節約。
- 食料と医療費で478 \$ の節約(米国:出産後6ヶ月)。
- 4ヶ月まで母乳育児をする人が30%から70%になれば、4億4900万 \$ の節約になる(セルビア・モンテネグロ)。
- 廃棄物が出ないため環境を汚染しない

母乳育児支援のための環境整備

- 母乳代用品のマーケティングに関する国際基準 (WHO/UNICEF ,1981)
- 母乳育児成功のための10ヶ条 (WHO/UNICEF ,1989)
- 乳幼児の栄養に関するイノチェンティ宣言 (WHO/UNICEF ,2005)

母乳代用品のマーケティングに関する 国際規準 (WHO,1981)

1. 消費者一般に対して、母乳代用品の宣伝・広告をしてはいけない
2. 母親に試供品を渡してはいけない
3. 保健施設や医療機関を通じて製品を売り込んでではない。これには人工乳の無料提供、もしくは低価格での販売も含まれる。
4. 企業はセールス員を通じて母親に直接売り込んでではない
5. 保健医療従事者に贈り物をしたり個人的に試供品を提供したりしてはならない。保健医療従事者は、母親に決して製品を手渡してはならない

6. 赤ちゃんの絵や写真を含めて、製品のラベル(表示)には人工栄養法を理想化するような言葉、あるいは絵や写真を使用してはならない
7. 保健医療従事者への情報は科学的で事実に基づくものであるべきである
8. 人工栄養法に関する情報を提供するときは、必ず母乳育児の利点を説明し、人工栄養法のマイナス面、有害性を説明しなければならない
9. 乳児用食品として不適切な製品、例えば加糖練乳を乳児用として販売促進してはならない
10. 母乳代用品の製造業者や流通業者は、その国が「国際規準」の国内法制を整備していなくても、「国際規準」を遵守した行動をとるべきである

母乳代用品のマーケティングに関する 国際基準の現状（世界193カ国）

法制化されている	32ヶ国
多くの条項が法制化されている	44ヶ国
政府の指針または任意規定とされている	18ヶ国
ほとんどの条項が法制化されている	25ヶ国
条項の一部が任意規定やガイドライン	21ヶ国
政府の指針の素案が検討されている	22ヶ国
研究はされている	17ヶ国
まったく行動がおこなわれていない	9ヶ国
まったく情報がない	5ヶ国

母乳育児成功のための10か条(1)

(WHO/UNICEF,1989)

1. 母乳育児についての基本方針を文書にし、関係するすべての保健医療スタッフに周知徹底しましょう
2. この方針を実践するために必要な技能を、全ての関係する保健医療スタッフにトレーニングしましょう
3. 妊娠した女性全てに母乳育児の利点とその方法に関する情報を提供しましょう
4. 産後30分以内に母乳育児を開始できるよう、母親を援助しましょう
5. 母親に母乳育児のやり方を教え、母と子が離れることが避けられない場合でも母乳分泌を維持できるような方法を教えましょう

母乳育児成功のための10か条(2)

6. 医学的に必要でない限り、新生児には母乳以外の栄養や水分を与えないようにしましょう
7. 母親と赤ちゃんが一緒にいられるように、終日、母子同室を実施しましょう
8. 赤ちゃんが欲しがるときに欲しがるだけの授乳を勧めましょう
9. 母乳で育てられている赤ちゃんに人工乳首やおしゃぶりを与えないようにしましょう
10. 母乳育児を支援するグループ作りを後援し、産科施設の退院時に母親に紹介しましょう

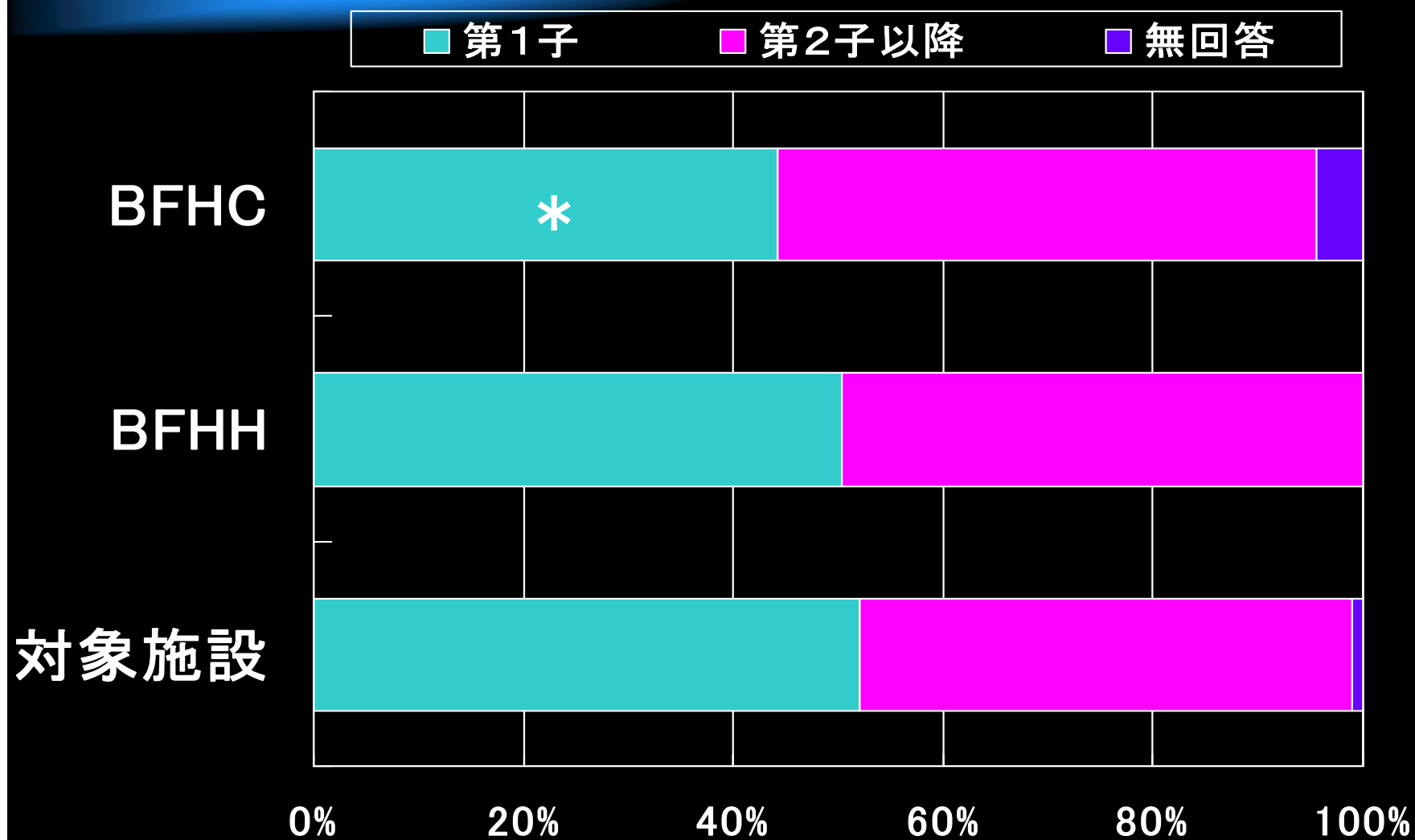
環境別の研究から

- 平成18年度厚生労働科学研究費補助金
「妊娠・出産の快適性確保のための諸問題の研究」(主任研究者:橋本武夫)
- 親子関係の早期確立のための母乳育児
の達成度調査及び母親の満足度調査

研究対象と評価

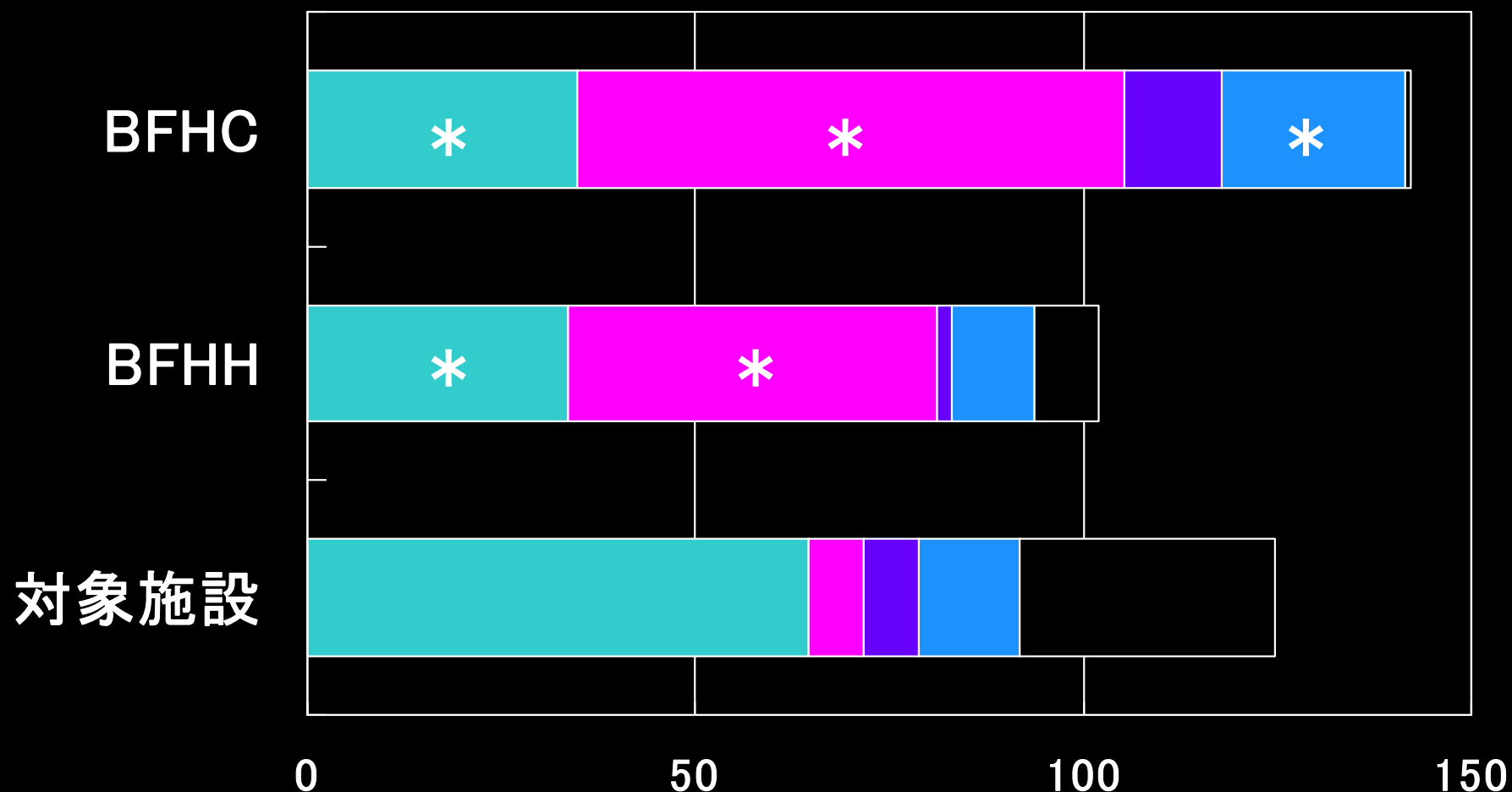
- Baby Friendly Hospital (BFH)
- ①BFHC（ローリスクな妊娠出産を扱う
BFH22施設:N=1973）
- ②BFHH（ハイリスクな妊娠出産を扱う周産
期センター役割をもつBFH16施設:N=1538）
- ③対象4施設:N=380
- 「①BFHC②BFHH」と「③対象施設」の比較
検討を行った
- * $P < 0.01$ * * $P < 0.05$

施設選択：出産順位

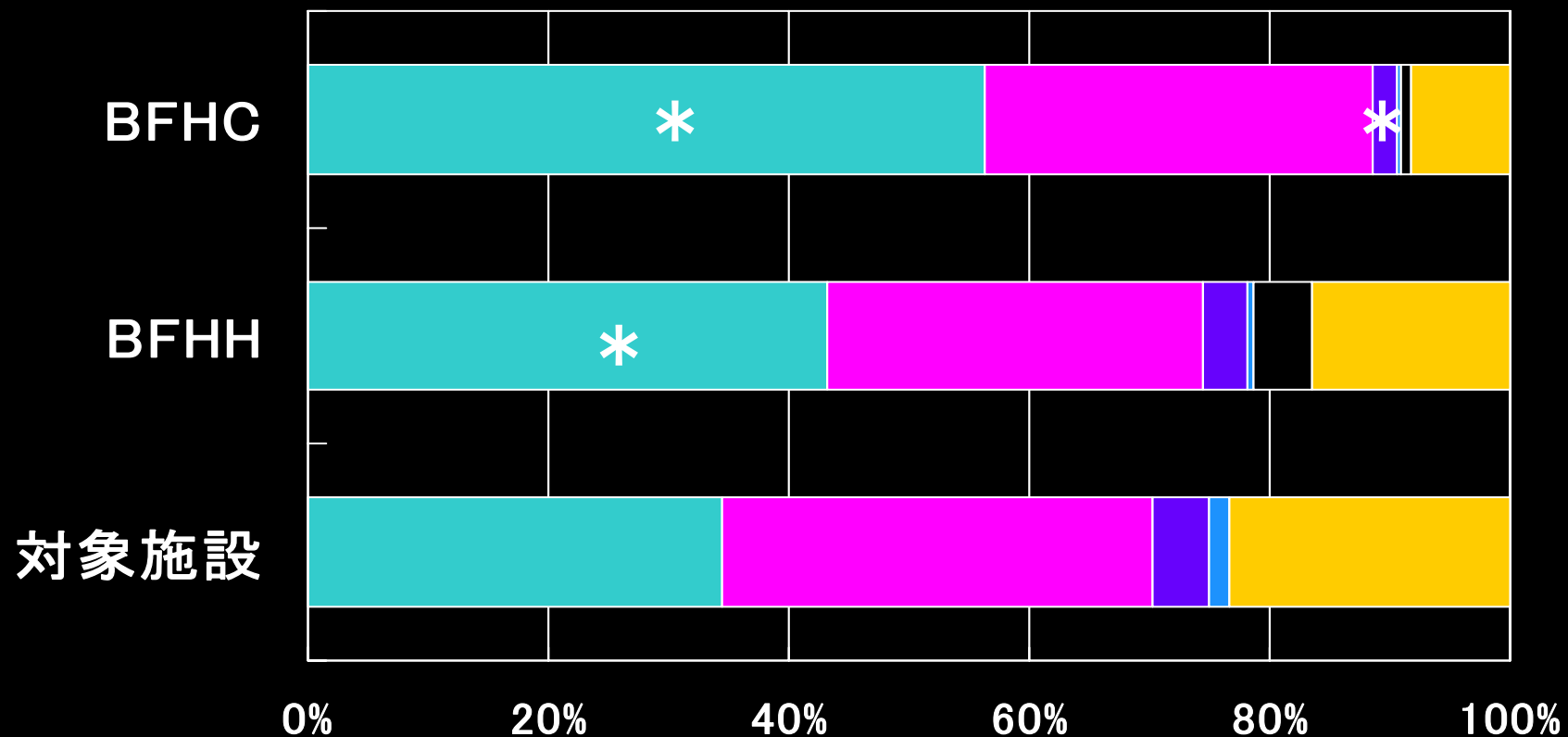
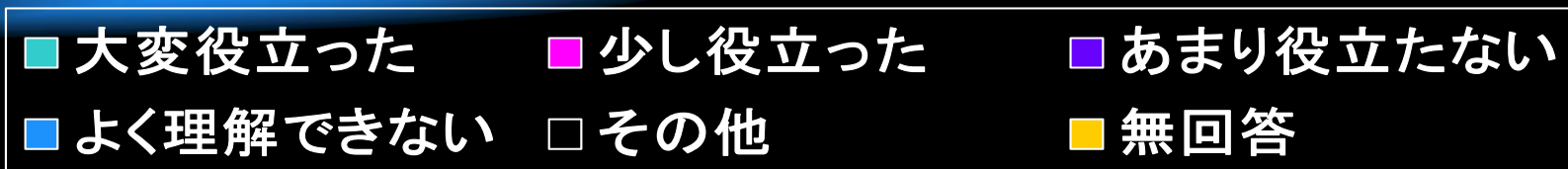


施設選択理由 (有意差 $p<0.01$ のある項目上位)

■ 近い ■ 母乳推進・同室 ■ 食事 ■ 友人の薦め ■ 無回答

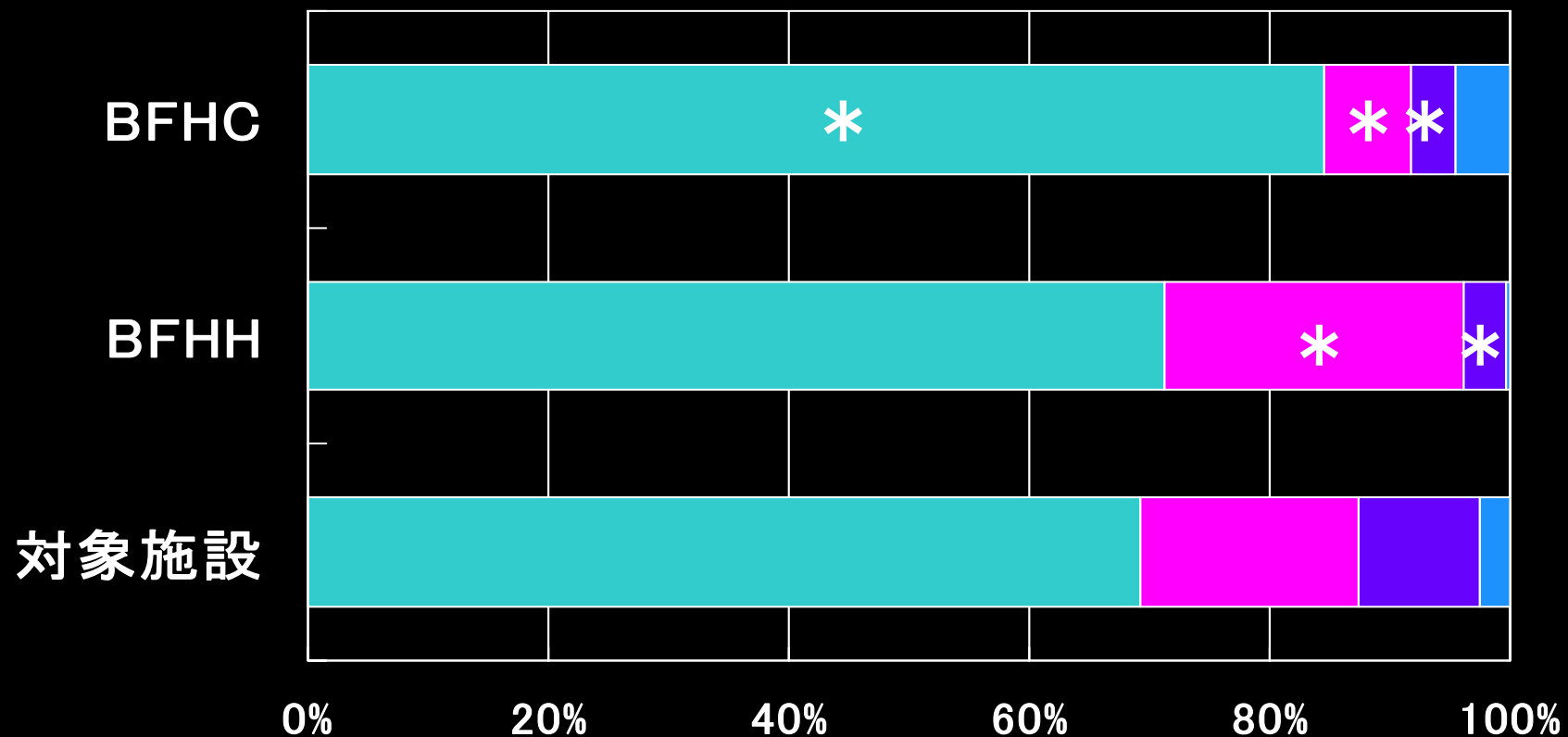


妊娠期教室の評価



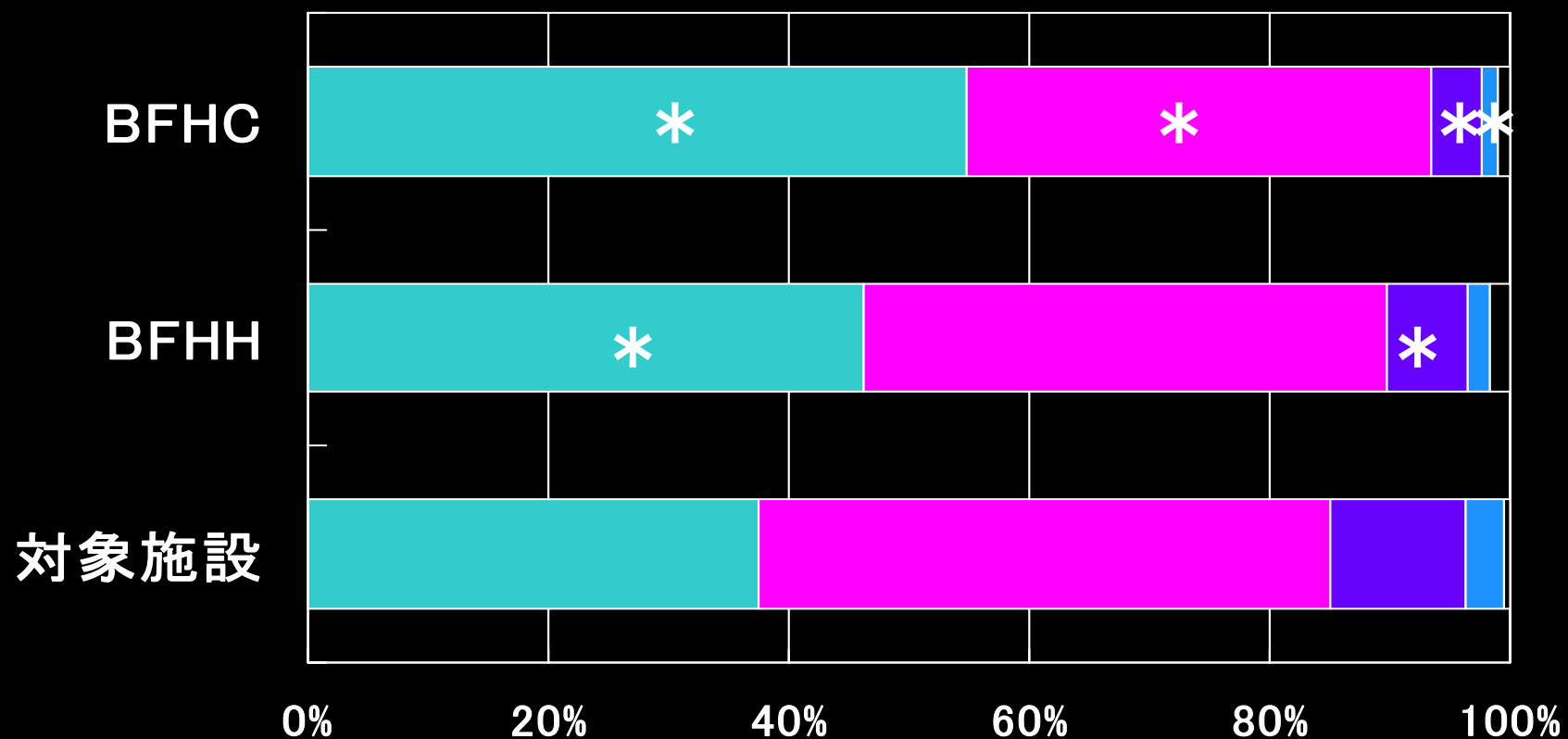
分娩様式

■ 頭位経膈 ■ 帝切 ■ 吸引 ■ その他



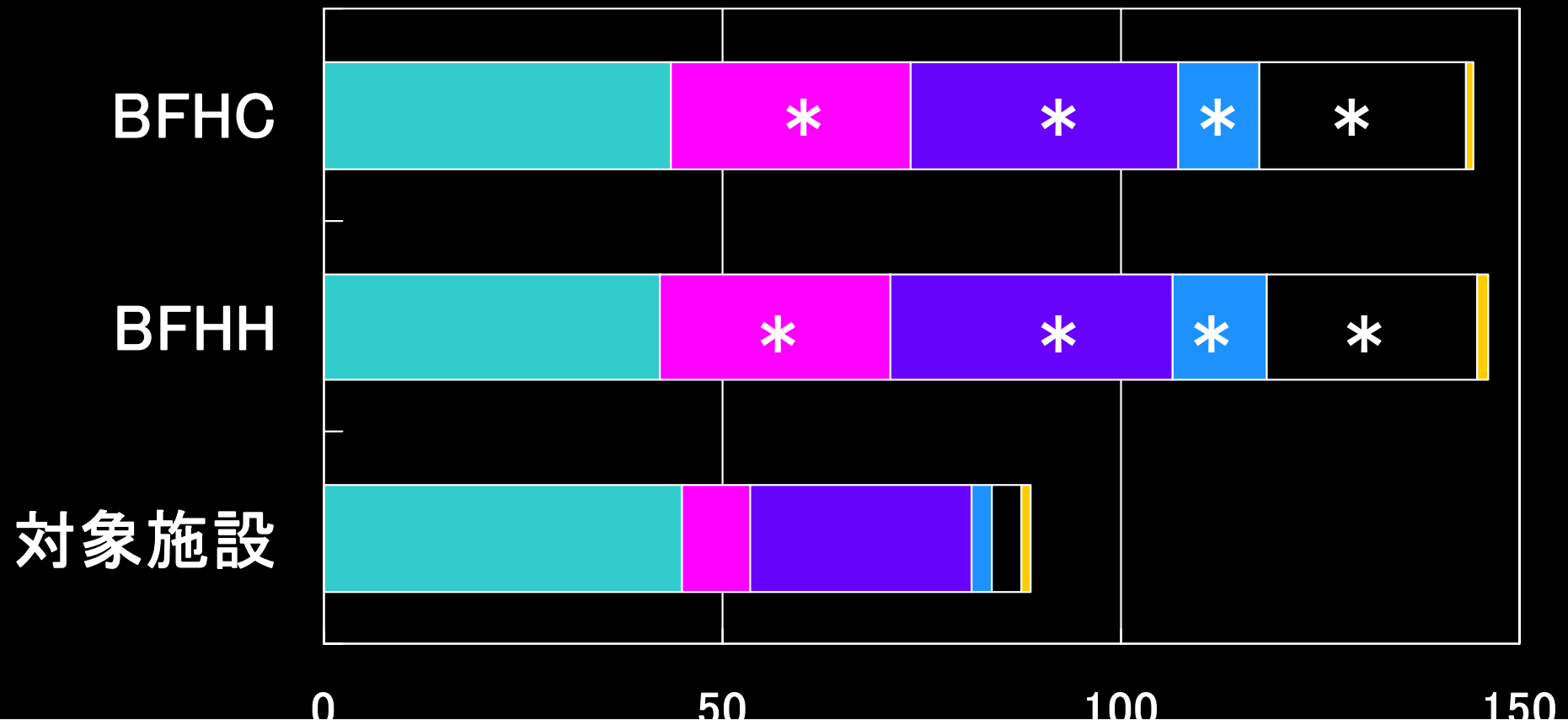
分娩の評価

■ 大変満足 ■ ほぼ満足 ■ 少し不満 ■ 不満 □ 無記載

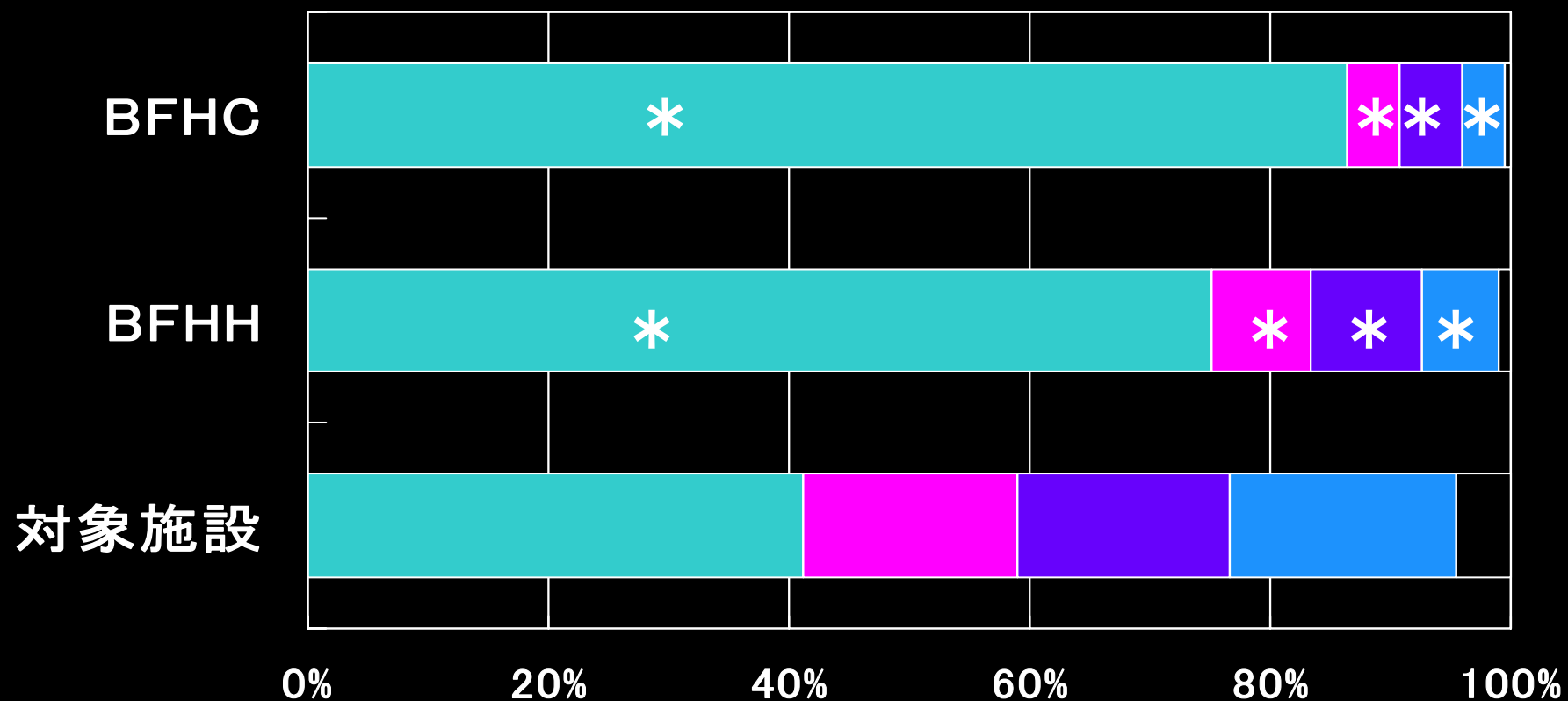


母親になった実感が湧くとき

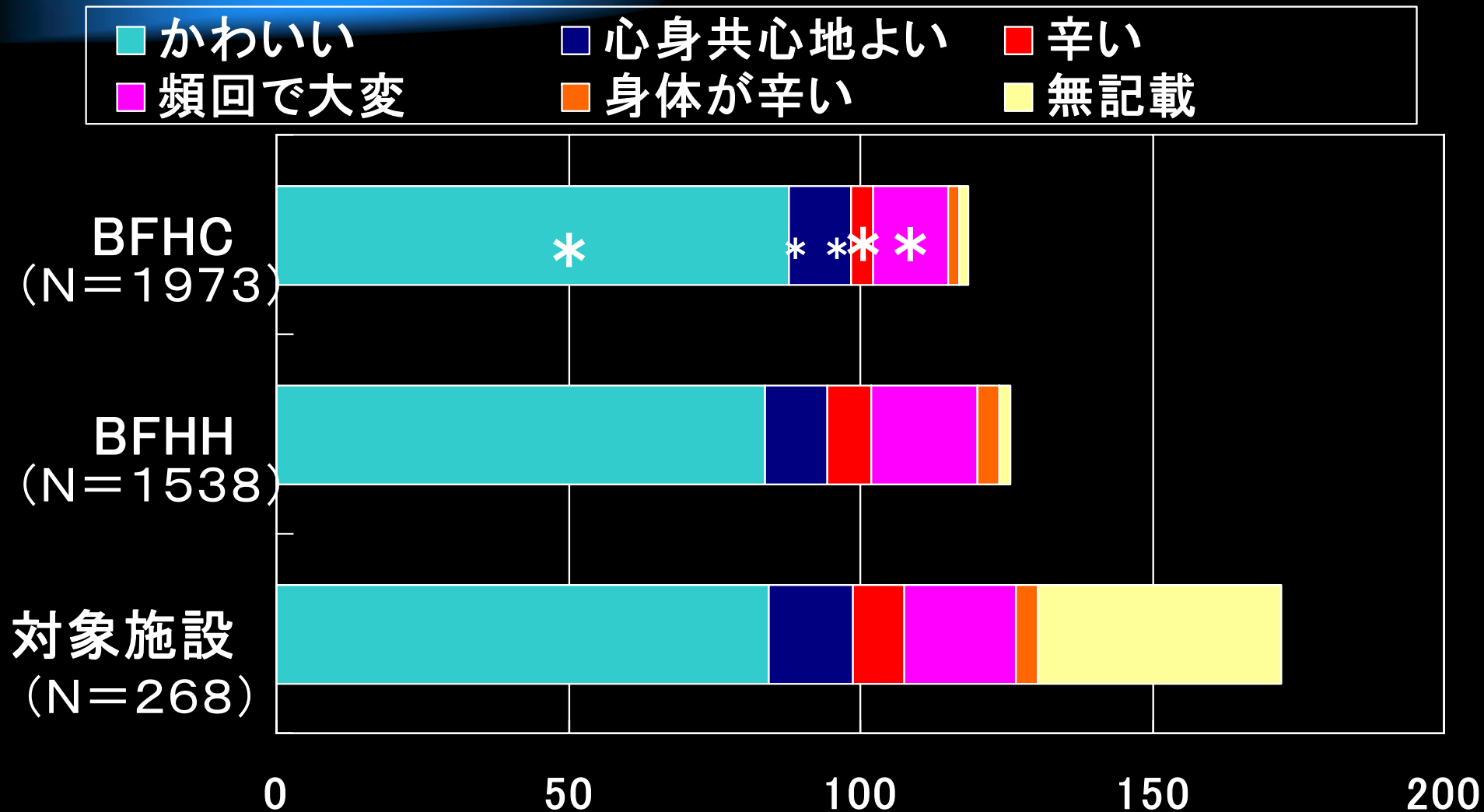
- 産んだ瞬間
- 乳首を吸われた時
- 抱っこして泣きやんだ時
- カンガルーケア
- 授乳が上手くなって
- 無記載



出産後1ヶ月の栄養法

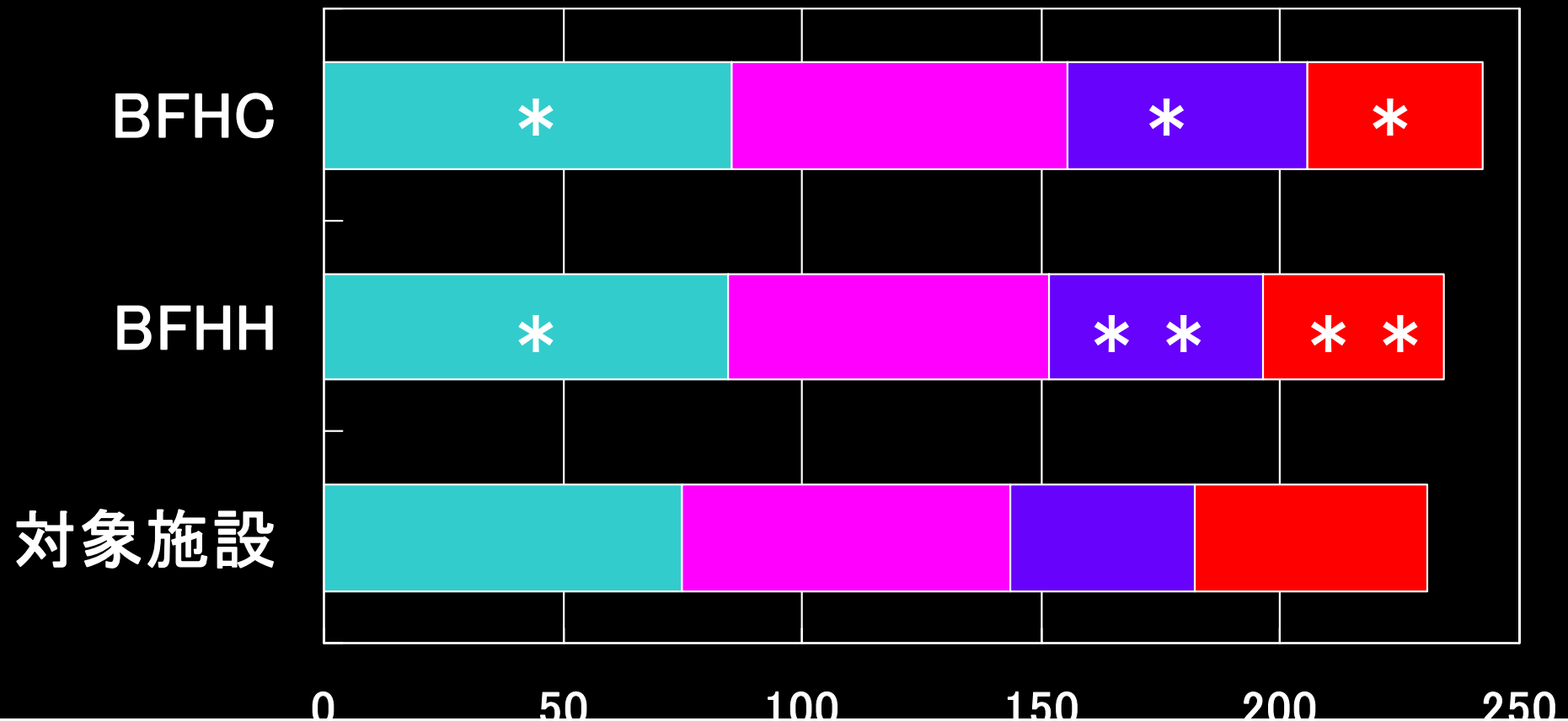


母乳栄養時に感じること



幸せを感じる時(産後1ヶ月)

■ 寝顔を見る ■ 成長を実感 ■ 授乳中 ■ 夫の協力



現在、辛いことは何か(1ヶ月)

■ 寝不足

■ 寝てくれない

■ 泣きやまない

■ 頻回授乳

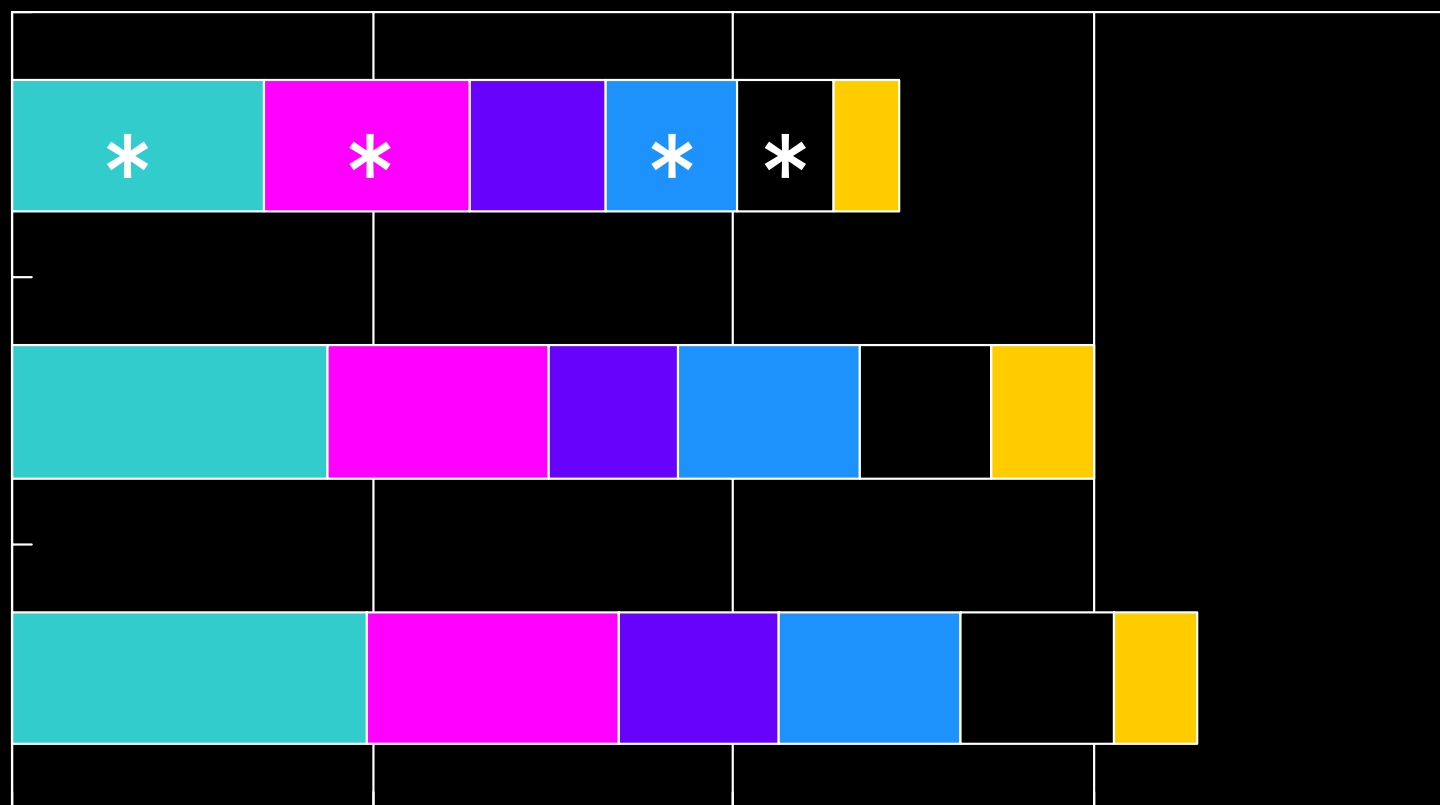
□ 授乳時間が長い

■ 体が辛い

BFHC

BFHH

対象施設



0

50

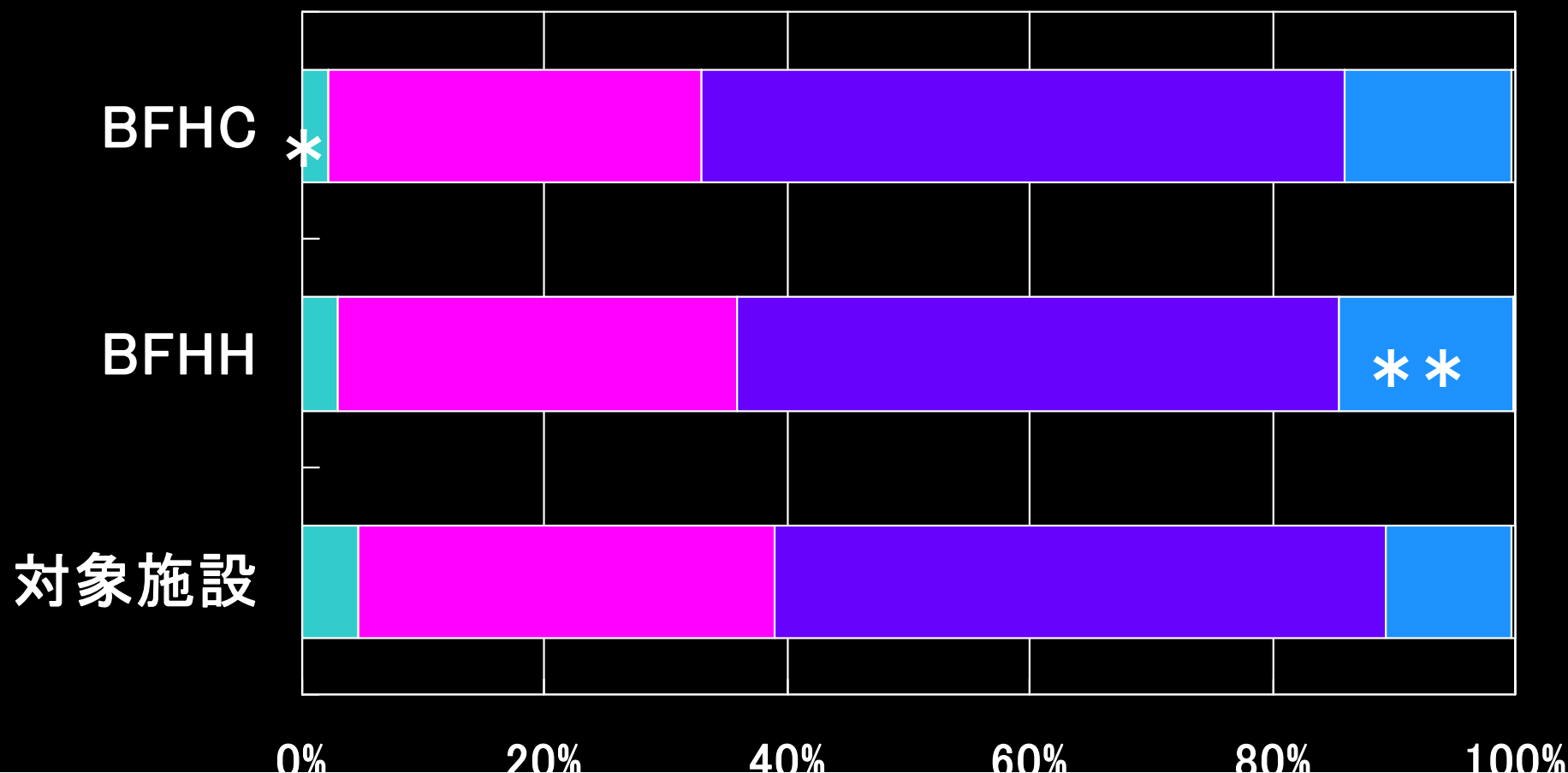
100

150

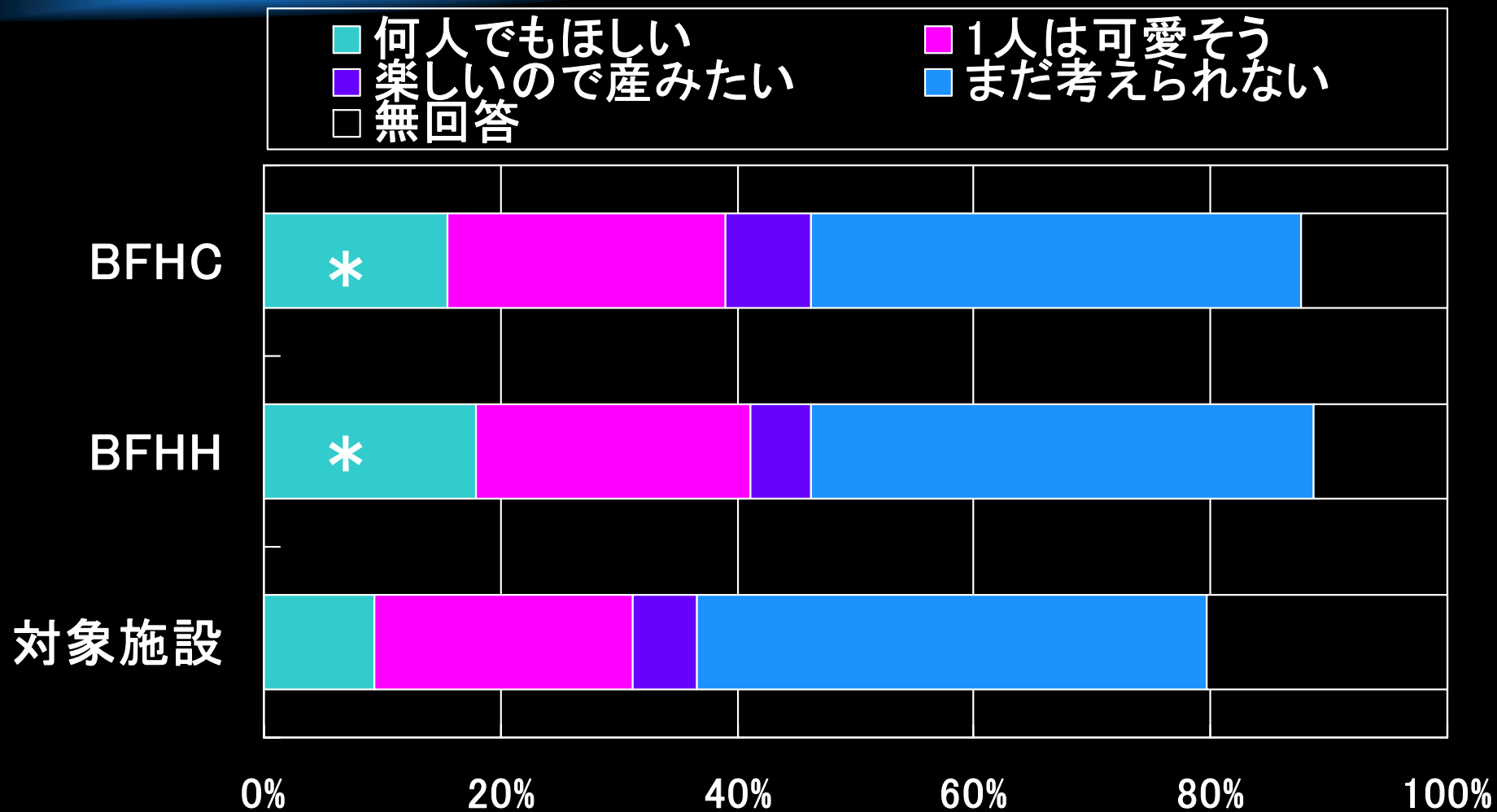
200

憂鬱になることがあるか

■ よくある ■ 時々ある ■ あまりない ■ 全くない □ 無記載



また産みたいか



母乳育児支援の始まり

- ①妊娠期～
- ②お産～
- ③新生児訪問～